

長野県スポーツアワード 2025

～受賞者と受賞理由～

○ 最優秀賞

◆ 太田 歩（株式会社ジェイエア）

理由：東京デフリンピックバドミントン混合団体において、日本デフバドミントン界として初の金メダル獲得に貢献した。さらに、男子ダブルスでは4位入賞を果たすなど優れた成績を収めた。

◆ 長野東高等学校陸上競技部女子駅伝チーム

理由：全国高校駅伝に19年連続19回出場し、2年連続3回目の優勝を飾った。1区から一度も首位を譲らない圧巻のレース運びでの完全優勝であった。大会記録に迫るタイムをマークしており、次回大会での3連覇が期待される。

◆ 林 映心（大正大学1年）

理由：スラックラインのワールドカップで初優勝を果たし、さらに地元小布施町で開催された同大会では、3,000人を超える観衆の前で堂々の準優勝を収めた。今後もスラックライン競技の普及と発展に寄与することが期待される。

◆ 村田 悠祐（仙台大学4年）

理由：東京デフリンピックの陸上男子1600メートルリレーで金メダルを獲得した。また、2年前の冬季大会ではアルペンスキー男子大回転で銀メダルを獲得しており、夏季・冬季の両大会でのメダリストとなった。今後のさらなる活躍が期待される。

○ 優秀賞

◆ 飯山高等学校スキー部

理由：インターハイにおいて、男子が総合優勝、女子も総合準優勝と輝かしい成績を残した。特にクロスカンントリーリレーでは男女ともに優勝を果たし、女子は8連覇を達成するなど、男女とも高い競技力を見せつけた。

◆ 駒ヶ根市立赤穂中学校新体操部

理由：全国中学校新体操選手権大会女子団体が初優勝を飾った。前回準優勝の悔しさを糧に、一体感を高めて雪辱の優勝。この種目県勢2連覇を果たし、今後の活躍が期待される。

◆ 佐々木 泰雅（小海高等学校3年）

理由：全日本スピードスケート距離別選手権の男子10000メートルで、シニア選手に交じって出場し、初優勝を果たした。また、世界ジュニア選手権では男子チームパシュートで優勝を飾るなど活躍している。今後の活躍が期待される。

◆ 重田 柁介（愛知工業大学名電中学校1年）

理由：国内最高峰の大会である全農杯全日本卓球選手権大会のホープス男子の部で初優勝を果たした。これを機に、東アジアホープス卓球大会に日本代表として出場し、団体戦の準優勝に貢献した。将来の日本を代表する卓球選手として、今後のさらなる活躍が期待される。

◆ 田中 聡（フォルトウナ・デュッセルドルフ）

理由：Jリーグ60クラブの頂点を決めるルヴァンカップを圧倒的な運動量と粘り強い守備でサンフレッチェ広島に優勝に貢献した。J1では、シーズンを通して活躍し、ベストイレブンに初めて受賞した。シーズン終了後にブンデスリーガ2部のデュッセルドルフに移籍し、今後の活躍が期待される。

◆ 中東 郁葉（サムティ株式会社）

理由：東京デフリンピック水泳に9種目出場し、このうち、女子4×100mメドレーリレーで銅メダルを獲得した。この他、4種目で入賞を果たした。今後の活躍が期待される。

◆ 星河 真一郎（F. C. ATLAS）

理由：東京デフリンピックサッカー男子において、大会3得点を記録するなど、銀メダル獲得に貢献した。次回大会での金メダル獲得に向け、更なる活躍が期待される。

※なお、選考にあたっては、以下の基準に基づき実施した。

- (1) 候補者がその年に達成した成績や実績を評価【活躍の度合い】
- (2) 長野県内外での注目度や影響力【話題性】
- (3) 特に若い選手やアマチュア選手の場合、今後の成長や可能性を考慮【将来性】
- (4) スポーツ文化の向上に寄与したか【長野県への貢献度】
- (5) その他上記以外の特に評価すべき事項